

〈学校教育目標〉

自分大好き 友だち大好き みんな大好き
— 主体的に学習に取り組み、一人一人が輝く学校 —

〈目指す子ども像〉

～ 心豊かにたくましく生きる子 ～

○自ら考え学ぶ子(知) ○やさしい子ども(徳) ○たくましい子(体)

生徒指導の
3機能を生かす

〈育てたい資質・能力〉

- ・様々な変化に主体的に向き合う
- ・他者と協働して課題を解決する
- ・様々な情報を見極め、情報を再構成する

I 個性の伸長と確かな学力の育成

- 人権を基盤においた学級経営を図る。
 - ・ユニバーサルデザインに基づいた授業づくりや環境づくり
 - ・「困り」を抱える子ども一人一人に対する支援
- 学びの主体を引き出す指導法の開発
 - ・カリキュラムマネジメントの視点をもって実践を進める。
 - ・教科横断的な視点で組み立てる
 - ・健康な体と体力向上のための取組の推進
- 学びの質を高める。
 - ・学習規律の徹底と学び合う学習集団づくり
 - ・探究活動の推進
 - ・実践的英語力の育成
 - ・プログラミング教育の推進
 - ・自学自習の習慣化の構築
 - ・主体的、対話的で深い学び

II 人間性の涵養

- 道徳教育の充実
- お互いの生き方や多様な価値観の違いを認め合う。
 - ・人権尊重の精神と態度の育成
- 自尊感情の高揚
- 規範意識の育成
- 子どもたち相互の人間関係づくり
 - ・縦割り集団活動、部活動、特別活動の推進（なかよしグループ）
 - ・支え合い高め合う集団作り
- 小中一貫教育を視野に入れた保幼小（スタートカリキュラム推進）及び、小小連携の推進
- 生命尊重と健康や安全に対する自己管理能力の向上
- 伝統文化への興味・関心を高め関わる取組の構築
- キャリアパスポートの推進

III 地域・社会との関わりの推進
(地域に開かれた教育課程)

- 本校教育の課題を明らかにし、学校の特色を示す取組
- 心の安定、安心できる居場所づくり
- 地域と学校との教育の協働活動の推進
- 地域素材を生かした取組の推進
- 内外に開かれた学校
- 安全教育、管理体制の強化
- 関係機関等社会との連携
- 社会とのつながりや接続を実感できる学習の推進

目指す教職員像

元気な教職員

よく学ぶ教職員

つながる教職員

- ・学校づくりの主体となる
- ・自己研鑽に励む
- ・チーム柏野の一員として組織的・継続的に取り組む

全ては柏野の子どもたちのために